

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年8月23日から2004年8月29日の週

目次

週間ハイライト

国際	2
韓国	2
中国	2
台湾	3
香港	3
シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア	4
米国 / カナダ	4
欧州	5

この文書は情報提供を目的としており投資助言とはみなされませんし、またこの文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているともみなされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現もいたしません。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年8月23日から2004年8月29日の週

週間ハイライト

国際

IT

- **中小企業はIT投資を増額し始める。**日本を除くアジア太平洋地域の中小企業によるIT投資額は今年297億米ドルの予測で前年比14.4%増。ITサービスへの投資は2008年迄年率15%増の見込み。

インターネット

- **米国が迷惑メールの最大発信源。**米国発信の割合は全体の42.5%、韓国発が15.4%、中国と香港の合計が11.6%、カナダは2.9%。今年1月に制定された米国の新法制度が有効に機能していない。

韓国

インターネット

- **韓国ヤフーは昨年来現地開発のオンライン・ゲーム輸出で米国、日本及び欧州数カ国のヤフー合計7社と交渉中。**韓国ヤフーは複数参加のオンライン・ゲーム共同開発でサムスン電子と合意した。

IT

- **KTは固定回線の売上高が減少し新しい収益源を模索中。**KTは2003年の売上高101億米ドルを2010年には230億にする計画。KTは固定回線で95%、ブロードバンドで51%の市場占有率を持つ。
- **韓国はハイテク産業に外国投資を呼び込むためソウルにソフトウェア開発センターを設立する予定。**ソウル・デジタル・メディア・シティに3億7200万米ドルを投じて設立される。

半導体

- **ハイニクス半導体はメモリー業務以外の業務をシティグループに売却する計画を実行に移す。**資産売却に反対する株主からの株式買入価格を下げるハイニクスの提案は金融監督庁が却下した。

中国

ソフトウェア

- **シノコム・ソフトウェアは顧客支援センター数を17から30に増加させる計画。**上半期の売上高

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年8月23日から2004年8月29日の週

8110 万米ドルのうち日本からの受託が 94%を占める。技術者の企業派遣も行っている。

- 中国のパッケージド・ソフトウェア市場は5年間で倍以上の58億米ドル市場となる見込み。2004年から2008年の年間成長率は平均で22.4%。2003年の市場規模は21億米ドル。

モバイル/無線通信

- チャイナ・ユニコムの上半期純利益は前年同期比18%増の3億4000万米ドル。親会社のチャイナ・ユナイテッド・コミュニケーションズから地方のネットワークを買収したことも収益に寄与した。
- チャイナ・モバイルは22のサービス・プロバイダーに対して規制違反として罰則を課した。22社に含まれるのはソフ、上海Mトーン・ワイヤレス、上海シファン等。
- チャイナ・モバイルはソフ、Mトーン・ワイヤレス(上海)、上海シファン、広東ルイ・シ・コミュニケーションズに対するマルチメディア・メッセージ・サービス使用許可は1年間停止と発表。
- 中国のウェブ・ポータルは双方向音声通信(IVR)について携帯電話運営会社の厳重な姿勢に直面している。チャイナ・モバイルはナスダック上場のシナのIVRサービスを停止した。
- チャイナ・ユニコムは第三代携帯電話(3G)について強気。3G免許取得後6ヶ月でCDMA 3Gネットワークを構築できる見込み。GSM 運営業者はWCDMA ネットワーク構築に18ヶ月必要。
- 国内市場の成長率鈍化で携帯電話製造企業はこの2年で痛みを伴う再編に直面する。TLCの市場占有率は上半期8%となり前年同期の9.7%から低下。TCLは4月からアルカテルと提携している。

ベンチャー/投資

- 重慶のヤフ・インフォメーションはオンライン支払基盤環境の www.pay88.com をナスダックに上場する計画。pay88はナスダック上場のペイパルと類似した企業。上場は2006年となる見込み。

台湾

モバイル/無線通信

- ブルートゥース利用可能な機器の中国本土及び台湾企業による生産は今年78.6%増加する見込み。今年の出荷予定台数は2500万台。昨年は1400万台。このうち台湾企業が生産が90%を占める。

香港

モバイル/無線通信

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年8月23日から2004年8月29日の週

- 携帯電話運営会社のチャイナ・リソーシズ・ピープルズ・テレフォンは高速データ電送サービスと携帯テレビの実物宣伝を行った。内外ニュース、語学コース等を視聴できる。

通信

- PCCW はチャイナ・ネットワーク・コミュニケーションズと戦略的提携について最終的な交渉段階。PCCW の上半期の純利益は1億300万米ドルで前年同期比15%増。売上高は横這いで14億米ドル。
- 固定電話回線第三位のワーフ T&T が姉妹会社の I ケーブル・コミュニケーションと IP 電話サービスを開始。I ケーブルの顧客世帯数は180万。大手の PCCW の出方に注目が集まっている。
- PCCW は上半期の純利益が15%増加し4年ぶりに配当を支払う予定。ブロードバンド・インターネット接続業務が成長し不動産を売却したため。ブロードバンド接続回線数は20%伸び75万3,000。

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

モバイル/無線通信

- シンガポール第三位の携帯電話運営会社スターハブは10月に新規株式公開で3億5010万米ドルの資金調達をする予定。既存株主には日本のNTT等が含まれる。市場占有率は6月末で28.2%。
- シンテルのオプタス業務部門はオーストラリアの携帯電話運営会社ボーダフォンと共同でオーストラリア用3G携帯電話ネットワークを構築。国内6都市を結ぶ予定で投資金額は2500万米ドル。

通信

- シンガポール・テレコムはラテン・アメリカの業務拡大でスペインのテレフォニカとの協定に調印。テレフォニカもアジアでの業務拡大が可能となる。契約相手はテレフォニカの関連会社。

ベンチャー/投資

- シンガポールの会社はマレーシアの企業買収のため5億8300万米ドル以上を用意していると思われる。昨年タマセクがテレコム・マレーシアの株式を取得して以来の第二波が来る見込み。

米国/カナダ

インターネット

- グーグルの企業統治水準はS&P500種企業に比較して僅か0.2%。特に問題なのは創業者とその関係者が議決権の異なる、違う種類の株式を保有していること。社外取締役も3分の2以下。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年8月23日から2004年8月29日の週

ハードウェア

- ヒューレット・パカード (HP) は高品位テレビと家電製品同士を接続する「メディア・ハブ」を発売する予定。ハブはケーブル、衛星、インターネット、電話と接続できる。

半導体

- インテルは最新の無線ネットワーキング技術を発表。セントリーノを基本としたノートパソコンを 802.11、802.11b、802.11g 標準を利用した Wi-Fi ネットワークに接続できる。

メディア、娯楽、ゲーム

- 全米レコード業協会はイー・ドンキー、ライムワイア、グロクスター、カザ等のインターネットを利用した海賊行為で 744 人を訴訟。サービス・プロバイダー自体を訴訟できないため。

欧州

メディア、娯楽、ゲーム

- CD のオンライン海賊版作成を防ぐ複製防止技術が仏で法的な問題となる。裁判所がこの技術を利用した EMI に対する公式調査を開始した。仏では個人用複製は 1985 年の法律で認められている。

IT

- アルバリオンは米国のインターウェブを 5600 万米ドルで買収すると発表。アルバリオンはブロードバンド技術に特化。インターウェブは携帯電話運営会社に機器とサービスを提供している。